

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要								
建物名称	潟東けやき病院							
建設地	西蒲区 国見417番地							
用途地域	市街化調整区域、用							
建物用途	工場、病院							
竣工年	2012年9月 予定							
敷地面積	8,784.10 m <sup>2</sup>							
建築面積	1,363.83 m <sup>2</sup>							
延床面積	2,573.88 m <sup>2</sup>							
階数	地上2F							
構造	S造							
評価の段階	実施設計段階評価							
評価の実施日	2012年3月12日							
2. CASBEE新潟の評価結果								
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{52}{48} = 1.0$					
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★								
3. 新潟市の重点項目の評価								
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0			
			維持管理	Q2.1.3	3.5			
			更新性	Q2.3.3	3.1			
			2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2			
			3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0			
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
			5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		節水	LR2.1.1	4.0
						リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0						
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0			
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	4.0			
			7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0			
			4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
構造躯体と仕上材を容易に分離しやすい計画とするなど、リサイクル・再利用可能性の向上に配慮しています								

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

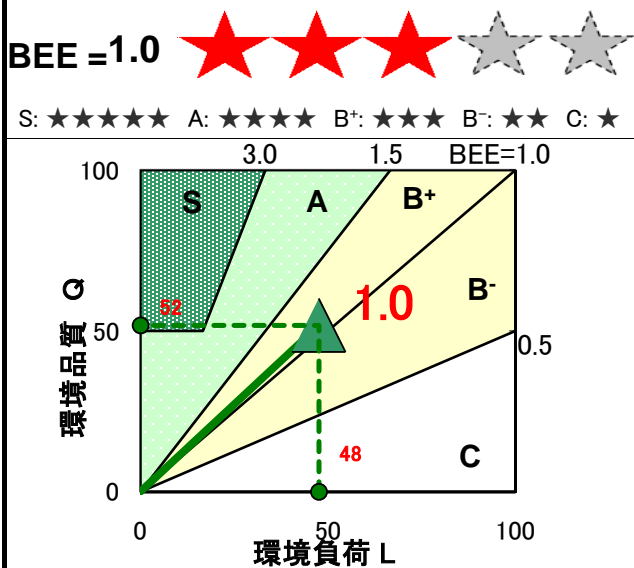
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

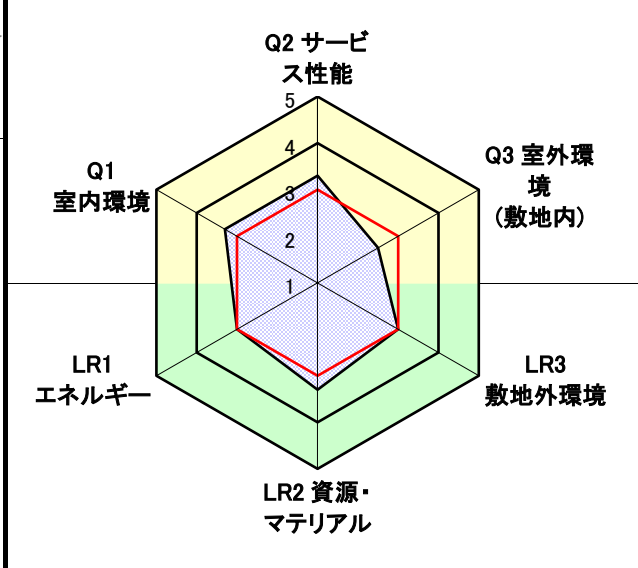
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)

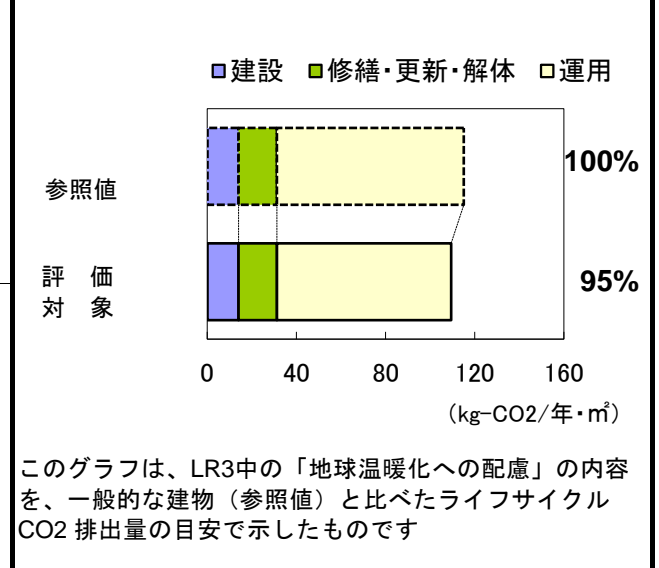
## 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



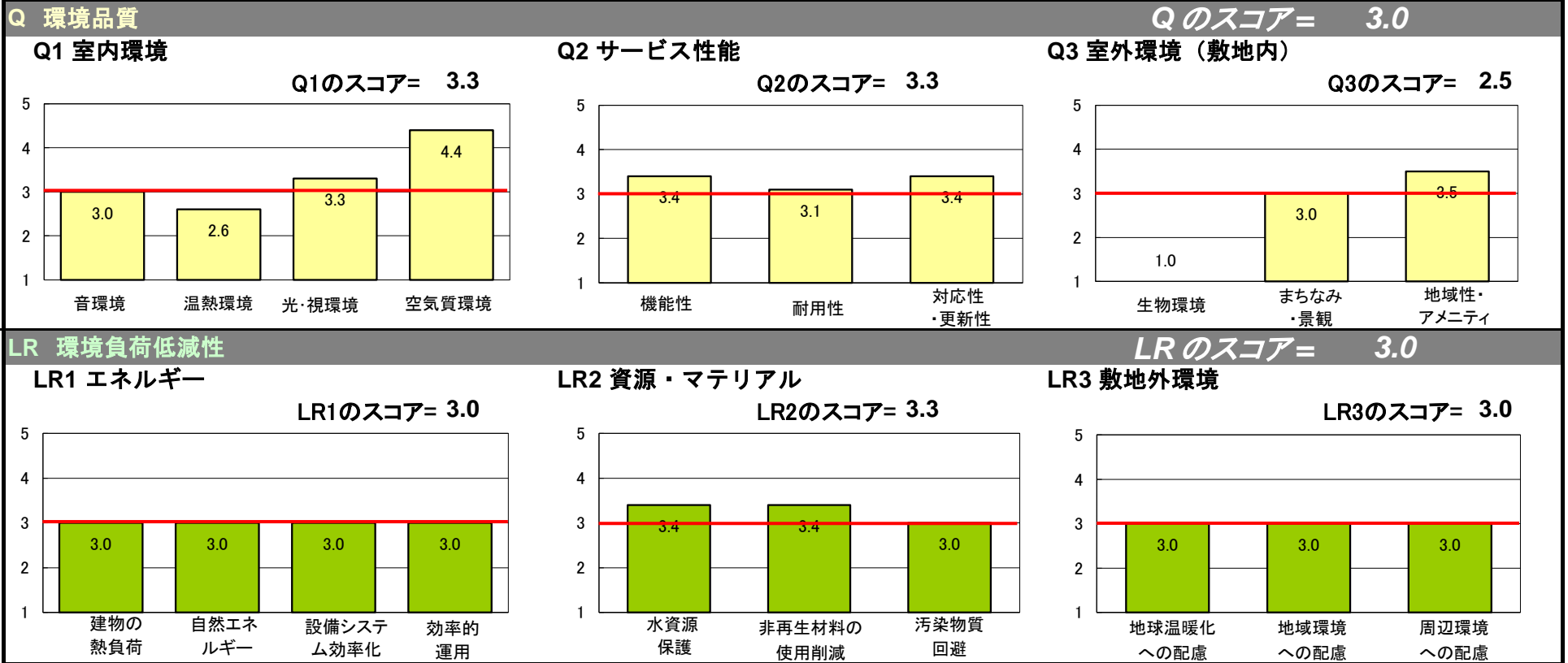
## 2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価 (バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 入院患者の快適性を重点項目とし、環境設計に反映しました。	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質の発生を低減するよう使用材料に配慮しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 設備システムの更新に配慮し、階高設定を行いました。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備計画の際、使用エネルギーの削減に配慮しました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 構造躯体と仕上材を容易に分離しやすい計画としています。
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 本計画においては、駐車スペースの確保を優先しました。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 外壁材に周囲の環境を考慮したベージュ色系の落ち着いた色のある色を採用予定です。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される